

平成 29 年第 10 回 沼津市教育委員会定例会会議録

1 日 時 平成 29 年 10 月 25 日 (水) 午後 1 時 30 分～午後 2 時 30 分

2 場 所 沼津市役所 3 階 第 1 第 2 委員会室

3 日 程

- (1) 開会
- (2) 会議録署名人の指名 (三好委員 重光委員)
- (3) 教育長職務代理者の指名
- (4) 教育長報告
- (5) 議 案  
なし
- (6) 協 議  
なし
- (7) 報 告
  - 1) 平成 29 年 9 月市議会定例会一般質問等について
  - 2) 平成 29 年度全国学力・学習状況調査について
  - 3) 平成 29 年度イングリッシュアドベンチャー事業の実施報告について
  - 4) 平成 29 年度「チーム学校」実現事業 (児童生徒支援員) の中間報告について
  - 5) 第 35 回沼津市山口源新人賞について
- (8) その他

4 出席者等

教育長 服部裕美子、教育長職務代理者 三好勝晴、委員 土屋葉子、委員 川口浩史、委員 重光純、教育次長 山田昭裕、教育指導監兼学校教育課長 大川淳、教育企画課長 真野正実、学校管理課長 佐藤高志、教職員研修センター所長 川口郁代、教職員研修センター指導主事 吉田和弘、市立沼津高等学校事務長 大川郁夫、文化振興課長兼戸田造船郷土資料博物館長 中島康司、生涯学習課長兼勤労青少年ホーム館長兼ゆめとびら舟山所長兼都市計画部香陵公園周辺整備室副参事 原恵子、青少年教育センター所長 小林孝子、図書館事務長 山本晴望、図書館長 杉山靖、スポーツ振興課長兼インターハイ準備室長兼勤労者体育センター所長兼都市計画部香陵公園周辺整備室副参事 山岡慶博、調整担当教育企画課長補佐 矢田陽子、教育企画課指導主事 本杉淳、教育企画課主任 飯田彩美、教育企画課副主任 長剣吾

5 会議内容

服部教育長が、午後 1 時 30 分開会を宣言する。

服部教育長より会議を公開とすることを委員に諮り、了承される。

傍聴人 2 名

- (1) 会議録署名人の指名

服部教育長より会議録署名人に三好委員、重光委員を指名する。

服部教育長より、三好勝晴委員が9月市議会定例会において沼津市教育委員として同意され、市長から任命を受けたことについて報告する。それでは、三好委員に改めて一言ご挨拶いただきたい。

三好委員

2期8年を務めたところであるが、あと4年、沼津の子どもたちの教育のために少しでも力を尽くさせていただく。

服部教育長

顔ぶれはこれまでどおりであるが、今後の総合教育会議、よりよい教育環境の整備、社会教育の充実に向けて、教育委員会として検討を進めていきたい。よろしくお願ひしたい。

## (2) 教育長職務代理者の指名

服部教育長

教育長職務代理者について、昨年10月から1年間、三好委員に務めていただいた。教育長職務代理者は、教育長に事故あるとき、又は欠けたときにその職務を代理するという責任がある。特に任期の定めはないが、ここで交代させていただくということではいかがか。

地方教育行政の組織及び運営に関する法律第13条第2項に基づき、新たな教育長職務代理者を指名させていただく。

土屋葉子委員を指名する。土屋委員、いかがか。

土屋委員

承知した。

服部教育長

それでは、土屋委員、教育長職務代理者をよろしくお願ひする。一言お願ひしたい。

土屋委員

職務代理者の仕事が起きないことを祈りつつ、務めさせていただく。

## (3) 教育長報告

服部教育長

はじめに、私から9月10月の行事について報告をさせていただく。

9月13日から10月16日まで、34日間の会期で9月市議会が開かれた。

学校支援員、通学路における安全対策、学校給食と地産地消、静岡茶愛飲促進条例に基づく本市の取組などの質問があり、答弁を行った。のちほど事務局から詳細を報告する。

10月12日には、県東部総合庁舎にて静岡教育事務所管内教育委員長・教育長連絡協議会及び静岡教育事務所管内教育長会が開催された。

教職員の不祥事根絶に関し、背景として教職員のストレス、うつ傾向などの健康状態の把握、職場環境の改善、多忙化解消等に真剣に取り組んでいく必要があることが話された。市教委としても、各学校に投げかけているところである。県からは多忙化解消に向けて、市町からの要望とともに、県としても教員の定数改善、SCなどの支援スタッフの増員を国に要望するという事など様々な面からの改善を図っていくという話があった。沼津市でも教職員が子供と向き合う時間、指導が充実するために多忙化解消を図っていききたい。

同日 12 日は、沼津市いじめ・不登校等対策連絡協議会が開催された。市内小中学校のいじめ防止・不登校対策に資するための協議会で、さまざまな部署、関係機関から構成されるものである。いじめや不登校の現状の報告、青少年教育センターの相談指導学級の状況報告の後、いじめ対策、相談指導学級、相談室経営などの各部会に分かれて検討会が行われた。子どもを取り巻く環境が改善されるようによりよい体制づくりが大変重要。先日福井の中学生在自殺するという痛ましい事件があった。教育に携わる者として大変重く受け止めている。市の各学校においても、相談体制、組織として対応する体制に取り組んでいる。

6 月から 10 月にかけて静岡教育事務所の管理主事による学校訪問が行われ、学校教育課とともに私もできる限り同行し、19 校を訪問した。11 月までに 5 校を訪問する予定でいる。

学校長などと懇談するとともに、全教員の授業を参観し指導するもので、学校の教職員、施設の実態の把握に努めている。地域、学校規模に応じて特色が感じられるとともに、年々子どもたちが自分たちで課題をつかみ、考えを伝え合いながら、学ぶという授業が増え、手ごたえを感じている。先生方も学び合い、若手の先生方が校内で力をつけているという様子に頼もしさを感じた。また、今年度人員を増やした支援員については、特に低学年の教室に細かな対応や目が行き届き、落ち着いて学習をしているという報告が多く聞かれた。実際に支援を受けて授業を行う様子を見ることができて大変良かった。各学校を回り、学校施設の環境改善も含め、より快適な学習環境や指導体制の整備に力を入れていきたいと感じた。教育委員の皆様にも学校を参観していただける機会をと考えている。

18 日に行われた中学校連合音楽会について。文化センターにおいて、午前午後に分かれて市内公立中 18 校の代表者が合唱を発表した。市教委と教育振興会との共催で、今年で 68 回を迎える音楽会である。市内全校の中学 3 年生、小規模校は全校生徒が集まり、合唱を発表するという機会は、音楽を学ぶ場というだけではなく、合唱を通して心を豊かに育てているという場であるということを感じた。講評より、「一人として『歌わされている』と感じる生徒がいない」「歌う側と聴く側が一体となった大変すばらしい合唱だった」「全員が『声を出す』というより、響き合いということができていた」と質の向上をほめていただいた。合唱の響きは子どもたちの心をつなげる素晴らしい活動だと感じた。指導は大変だと思うが、ぜひ続けていきたい教育である。来年は教育委員にも見ていただけるよう、ぜひご招待したい。

9 月 10 月ともに、スポーツや芸術の分野で活躍された方の市長表敬訪問が多くあった。毎回表敬訪問に同席しているが、これだけ多くの学生、チームが全国大会などに出場し、優秀な成績を収めているということは大変すばらしいことである。

沼津市芸術祭が 10 月 4 日からスタートし、さまざまな発表会や展示が行われている。様々な世代の人が広く芸術に親しんでいる様子に感銘を受けている。じっくり拝見できないのが残念であるが、これからもできる限り足を運んでいきたい。以上報告とする。

それでは、事務局から、その他の 9 月 10 月の主な行事等について報告をさせていただきます。

#### 教育企画課長

9 月 10 月の行事等一覧をご覧いただきたい。

9 月 10 月は芸術、スポーツの秋の名にふさわしく、それぞれの分野で活躍された方の市長表敬訪問が多くあった。それぞれのご紹介は割愛させていただきます。表敬訪問の様子は、沼津市ホームページ内沼津市教育委員会「表敬訪問」のページに写真とともに掲載されているの

で、ぜひご覧いただきたい。

10月1日(日)は、沼津ゆかりの詩人・作曲家である勝田香月と本居長世の碑がある港口公園にて碑前祭が行われ、教育長が出席した。当日は、高校生による作品の朗読や献花、ダンス、楽器演奏などが行われた。

10月5日(木)は、第35回沼津市小中学生科学研究奨励賞表彰式が開催された。教育委員の皆様にもご参加頂き、お礼を申し上げる。

今年度は、各小中学校から推薦された119名の児童生徒の中から、8名の研究が表彰された。優秀賞2名、優良賞6名であったが、いずれの研究も日頃から観察や考察を積み重ねた成果であり、大変すばらしいものであった。こういった地道な研究を積み重ねていく児童生徒が増えていくよう、教育委員会としても支援していきたい。

10月15日(日)には、ぬまづ健康スポーツ祭が市民体育館と戸田のB&G海洋センターで開催された。前回の定例会でも案内したとおり、子どもから高齢者まで幅広く、スポーツに親しんでいただけるよう企画したもので、当日は700人余りの市民の参加があった。

また、スポーツに関しては、平成30年度のインターハイまで1年を切った段階であり、その準備に向けた取り組みやPR活動が行われている。今月27日(金)には、インターハイ相撲競技大会の種目別ポスター原画選考会が予定されており、教育長が出席する。

以上、簡単であるが、報告とさせて頂く。

#### 服部教育長

これについて、何か質問等いかがか。

特にないようなので、以上で教育長報告とさせていただきます。

#### <議案>

服部教育長 日程(5)議案については、今月は案件なし。

#### <協議>

服部教育長 日程(6)協議事項は、今月は案件なし。

#### <報告>

服部教育長 それでは、日程(7)報告に入る。

#### 1) 9月市議会定例会一般質問等について

教育次長 9月市議会は、9月13日から10月16日まで開催された。

(教育次長 資料に基づき説明)

服部教育長 説明が終わったが、本件に対するご質問、ご意見等はいかがか。

重光委員 学校給食について、昔はパン食も多かったのが牛乳が出されていた。今はごはん食も多く、カルシウムを補うということで牛乳が出ているのかもしれないが、それ以外のものに、お茶などが出されることはないのか。味覚的にもごはんとう乳というのは・・・。

教育長 全国的には牛乳をやめてほかのものにしたところもある。でもまた牛乳としたところもある。

学校教育課長 沼津市では本年度 182 回の牛乳の提供をしている。和食週間などもあるので、そういう機会にお茶の提供を検討するなどしたい。

三好委員 「こどもかけこみ 110 番の家」について、一番の目的は犯罪の抑止力。ただ、風化するものである。古い看板を見かけることがあり、犯罪の抑止力としてはやはり古くなったら新しいものに更新してあることが大事。各学校でも抑止力となることを啓発して、面倒くさがらずに新しくしてほしい。ぴかぴかしていると目立つし、逆に古臭くなっていれば綻びが出ているように感じるし、学校等を通じて検討してほしい。

生涯学習課長 青少年を健やかに育てる会が中心となって活動を行っている。毎年設置個所のマップを更新し、警察、学校、PTA などに配っている。その更新作業の際に、古くなった看板は交換するようにしている。一般質問のなかでも、この事業がマンネリ化して形骸化していないかという指摘をいただいたところ。古いものを更新することを啓発するとともに、今設置している家にも再度確認のために手紙を差し上げるなどの対応も考えたい。

三好委員 設置や更新の流れをきちんと作らないと、面倒とってしまう。

教育長 地域、子供、学校が一体となってい制度を生かすようにしていかないとならない。

川口委員 自分は学校メールの登録をしていて、学校からお知らせメールなどが届くが、不審者情報がかかりある。その中には、防犯ブザーで不審者がひるんだところで逃げられたというものもあった。本当に危ないと思った。「こどもかけこみ 110 番の家」が機能していれば、大変意義がある。子どもたちに「こどもかけこみ 110 番の家」がどういうものか、認識されているのか、アンケートをとったことがあるか。

生涯学習課長 今年度、学校にアンケートを行った。防犯教育で「こどもかけこみ 110 番の家」がどういうものであるか、プレートを見せながら説明しているという学校や、朝の会などの学級指導の際に周知しているという学校があった。学校で子どもたちに、地域では地域の住民たちに、保護者には子供の通学路を回ってもらいながら確認して周知を図り、意識を持ってもらうようにしている。

川口委員 子どもたちがいざ知らない家に駆け込むとなると勇気がいるので、「こどもかけこみ 110 番の家」には駆けこんでよいのだと教えてあげてほしい。「こどもかけこみ 110 番の家」を子どもたちが認識しているかどうかが一番大事。

服部教育長 小学校ではプレートの実物を見せながら、長期休業の前などに指導している。その他、何かあるか。

土屋委員 IOT は、そんなにこれから重要なものであるか。

教育次長 他市で IOT を活用し、子どもたちがカードを持っていて、学校の玄関を出ると「学校を出た」、玄関を入ると「学校に登校した」という表示が保護者のスマホなどに届くといった、子どもの居場所の確認ができるようになっているものがあると聞いている。それらを 2 年間試行し、費用対効果を分析するというところがあった。

土屋委員 戸田造船郷土資料博物館について、現地を見学したことがあるが、津波浸水区域内であり、大きな災害が来た時に心配であるので、検討を重ねてほしい。

服部教育長 その他、何かあるか。  
ないようなので、本件は報告を受けたということでご了承願う。

## 2) 平成 29 年度 全国学力・学習状況調査について

(教職員研修センター所長 説明)

服部教育長 説明が終わったが、本件に対するご質問、ご意見等はいかがか。

三好委員 大変よく分析されていると感じる。

重光委員 他者と比較するしか、できているかどうかを測れないということはあるが、それは仕方のないことか。国語が嫌いな子供が増えたと聞いたことがある。先生は学力向上のため頑張ったが、子どもの学習意欲はどうかと考えれば、順位というものをあまり重視しなくてよいと思う。点数分布があるとよいと思う。

教職員研修センター所長 (資料説明)

学校の中でのテストを分析すると学力の二極化と思われる部分が挙げられることがあるが、学力の一面しか見られないとはいえ、この全国学力・学習状況調査を見る限りでは二極化とはいえない。子どもたちにこの全国学力・学習状況調査について説明するときに、「全国と比べて」どうかとは言わない。ただ、教員は指導力を向上させていく必要があるので、比較の話をする必要がある。保護者に説明するため、「家庭でこのようなことに取り組んでいただきたい」というものを今現在作成しているところ。

三好委員 結果を一喜一憂する話ではないわけで、学力・学習状況調査の結果を沼津のように充分分析して、それを子どもたちに指導する要点として活用していけばよい。

服部教育長 ほかに特にはないようなので、本件は報告を受けたということでご了承願う。

## 3) 平成 29 年度イングリッシュアドベンチャー事業の実施報告について

(学校教育課長 資料に基づき説明)

服部教育長 説明が終わったが、本件に対するご質問、ご意見等はいかがか。

重光委員 英語はコミュニケーションの道具なので、道具として使う機会を与えることにより、自分の英語が通じるという、モチベーションを上げることができる。日本人の中で英語を使っても面白くないわけで、やはり英語を母国語とする人とコミュニケーションを取るという挑戦が、子どもたちにとっても大変いい機会になる。これはぜひとも来年も続けてほしい事業。むしろ拡大してほしい事業である。

三好委員 非常にそう思う。英語を使ってみる、そして伝わったという体験がとてもよいことである。

服部教育長 そのほか特にはないようなので、本件は報告を受けたということでご了承願う。

## 4) 平成 29 年度「チーム学校」実現事業(児童生徒支援員)の中間報告について

(学校教育課長 資料に基づき説明)

服部教育長 説明が終わったが、本件に対するご質問、ご意見等はいかがか。

- 重光委員 実際の授業を参観して、クラスには授業中座ってられない子がどうしてもいて、そういった子どもたちへの支援に支援員が対応し、担任が授業に集中できるということが大変よいと思った。担任一人で対応していると、ほかの子どもも落ち着かず、授業にならなかったと感じる。実際の授業を見て、支援が必要な子どもが常在するという状況を目の当たりにして、支援員の存在は大きい。
- 服部教育長 支援員が各学校で融通を利かせて子どもの支援に当たれるという利点がある。
- 土屋委員 以前の総合教育会議で議題となり、支援員を増員していただいた。ぜひ活用して、できたら増やしていただけたら嬉しい。
- 服部教育長 本件は報告を受けたということでご了承願う。

5) 第35回沼津市山口源新人賞の決定について

(文化振興課長 資料に基づき説明)

- 服部教育長 説明が終わったが、本件に対するご質問、ご意見等はいかがか。  
今年度過去の実績者に講師になっていただき、高校生が版画を学ぶ機会を設けたが、大変よかった。日本版画協会でも素晴らしい取り組みであると、今後とも協力したいというお話をいただいた。
- 三好委員 山口源賞の作品はいつも大変素晴らしいものばかりである。
- 服部教育長 本件は報告を受けたということでご了承願う。

<その他>

- 服部教育長 その他、何かあるか。
- 教育企画課長 教育委員会たよりを発行した。お手元に配付したので確認いただきたい。
- 服部教育長 その他、何かあるか。
- 土屋委員 市民大学は大変素晴らしい講師を迎え、盛況であったと思う。市民の皆様が熱心に受講していただいていた。今年は広い会場で多くの受講者を迎えたが、それでも抽選に漏れて受講できなかった人がいたと聞いている。
- 生涯学習課長 毎回都合によりやむを得ず欠席となる受講者もいるので、400人定員で毎回400人出席とならないが、だからといって欠席を見越してその分多く受講者を受け入れることもできないところがジレンマとしてある。
- 土屋委員 了解した。
- 服部教育長 その他特にないようなので以上をもって本日の定例会を終了する。

午後2時50分 閉会